

令和8年産(7年播)麦生育情報 No. 3 (R8.2.25)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

(次回は3月下旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL : 0748-46-4392)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、平成27年～令和6年の平均値との比較)

期間	要素	平均気温	日照時間	降水量
1月	上旬	やや低い	やや少ない	平年並
	中旬	やや高い	多い	少ない
	下旬	かなり低い	かなり少ない	平年並
2月	上旬	やや低い	平年並	少ない
	中旬	平年並	かなり多い	少ない

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5~1.0℃:やや高い(低い)、±1.0~2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)

日照時間 <±5hr:平年並、±5~10hr:やや多い(少ない)、±10~15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)

降水量 <±10mm:平年並、±10~20mm:やや多い(少ない)、±20~30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況【農業技術振興センター麦類作況調査(2月16日現在)による。表1および後掲グラフ参照。】

- 「びわほなみ」は平年に比べ、莖数はやや多く、草丈は平年並、葉数は0.2枚多い。
- 「ふくさやか」は平年に比べ、莖数はかなり多く、草丈は平年並、葉数は0.2枚多い。
- 「ファイバースノウ」は平年に比べ、莖数はかなり多く、草丈は平年並、葉数は0.1枚多い。
- 葉齢の進展程度から平年並～4日程度早い生育進捗とみられる。
- 「びわほなみ」「ふくさやか」とともに2月18日に莖立期(主莖長2cm)を迎えている(11月5日播)。

表1 令和8年産(7年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	1/15 調査			2/16 調査		
		莖数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	莖数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
びわほなみ	R8年産 (平年比)	1072 (122)	20.0 (110)	5.6 (+0.1)	972 (107)	24.6 (103)	6.9 (+0.2)
	平年	881	18.2	5.5	908	23.8	6.7
ふくさやか	R8年産 (平年比)	918 (140)	23.7 (114)	5.4 (±0)	880 (133)	25.0 (99)	6.8 (+0.2)
	平年	655	20.7	5.4	664	25.2	6.6
ファイバースノウ	R8年産 (平年比)	998 (153)	13.8 (118)	5.2 (+0.1)	1084 (129)	12.4 (103)	6.4 (+0.1)
	平年	654	11.7	5.1	838	12.0	6.3

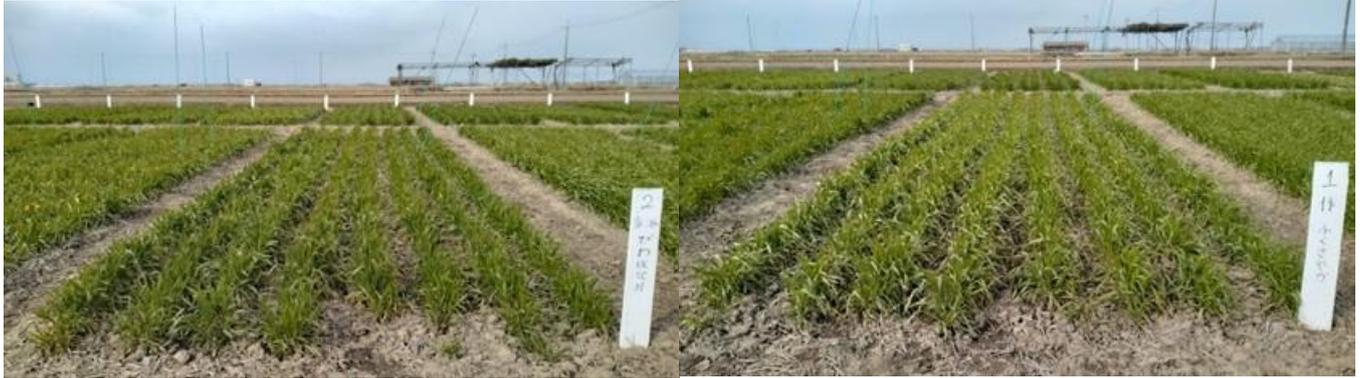
※播種日は、令和7年11月5日。

※「ふくさやか」・「ファイバースノウ」の平年は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は、草丈、莖数は平成28、30～令和7年産(平成27、29～令和6年播)の9年間、葉数は平成30～令和7年産(平成29～令和6年播)の8年間の平均値。

※播種様式は条播(条間25cm)、設定播種量は8kg/10a。

2月16日現在の麦の生育状況(農技センター作況調査)



「びわほなみ」

「ふくさやか」



「ファイバースノウ」

2 県内の状況

- 10月下旬～1月中旬は極端な高温や低温が続くことはなく気温は平年並に近く推移したが、1月下旬は強い寒波の影響でかなり低くなり、県北部を中心に積雪があった。
- 11月以降は概ね少雨傾向で推移しており、乾きやすい状態が保たれているほ場が多く、全体的に生育は順調とみられる。
- 播種の早いほ場では分けつが旺盛だが、播種の遅かったほ場では分けつが平年並～やや少なく、播種の早晩による生育の差がみられる。
- 播種が早く生育が進んでいるほ場では茎数の増加が止まっている。
- 県北部の積雪の多かったほ場では生育が抑制傾向となっている。

3 今後の管理

(1) 追肥(穂肥)

※積雪がある場合は、融雪後、地表面に溜まった融雪水を排水した後に追肥や穂肥を施用する。

①速効性肥料の分施肥体系(基肥－追肥－**穂肥**－実肥)の場合

- 穂肥は2月下旬～3月上旬に施用する。
- 茎数が少ないほ場では、有効茎歩合を高めるために、早めに穂肥を施用する。
- 積雪のため穂肥が施用できなかったほ場は、融雪後、なるべく早く穂肥を施用する。

②基肥一発体系の場合

○基肥一発肥料（緩効性肥料）を施用している場合でも極端に葉色が落ちているところは、3月上旬までに窒素成分で2 kg/10a を限度に追肥する。

③後期重点施肥の場合

○穂肥時期は、茎立期（主稈長が「2 cm」になる時期）が目安。

○麦類作況調査（農業技術振興センター）の11月5日播きの「びわほなみ」、「ふくさやか」は、ともに2月18日に茎立期を確認している。

○播種時期や積雪期間の違いによって生育の差が大きいことから、ほ場で生育状況を確認して、穂肥を施用する。

※播種時期が遅く茎立期が3月上旬以降になる場合は、茎立期を待たずに3月上旬までに穂肥を施用し、莖数を確保する。



(2) 排水対策

○融雪水などの滞水による排水不良は、根の伸長が不十分となって登熟不良にもつながる。

○溝に水がたまったままの状態にならないよう、水口は止まっているか（水路からの雪解け水の流入防止）、排水口・排水路はつまっていないか（ほ場の停滞水防止）を今一度確認し、溝さらえを行うなど徹底した排水対策を講じる。

【参考サイト】

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方气象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/>



農業技術振興センター



病虫害防除所



彦根地方气象台



早期天候情報

～農業情報の配信について～

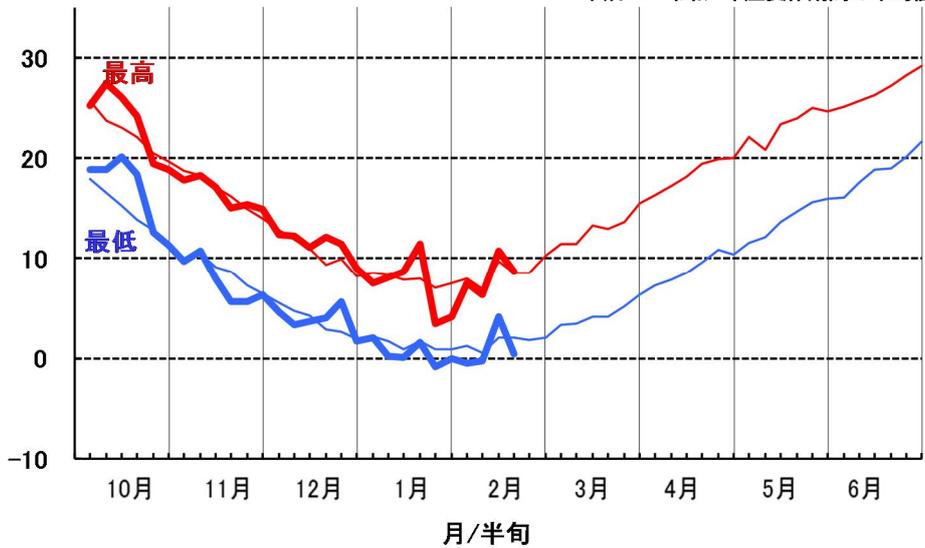


- 滋賀県では、「防災・防犯等の情報をはじめとする滋賀の安全・安心のための情報やイベントのご案内など」を、ご希望の方へ情報配信しています。
- 台風等の気象災害や病害虫の発生が懸念される際に農業技術情報や農業に関するイベントのご案内など農業者向けの情報も配信しています。農業に関するタイムリーな情報収集手段の一つとして、是非ご利用ください。
- 詳しいサービスの説明、ご利用上の注意及び利用規約は下記の滋賀県ホームページをご覧ください。

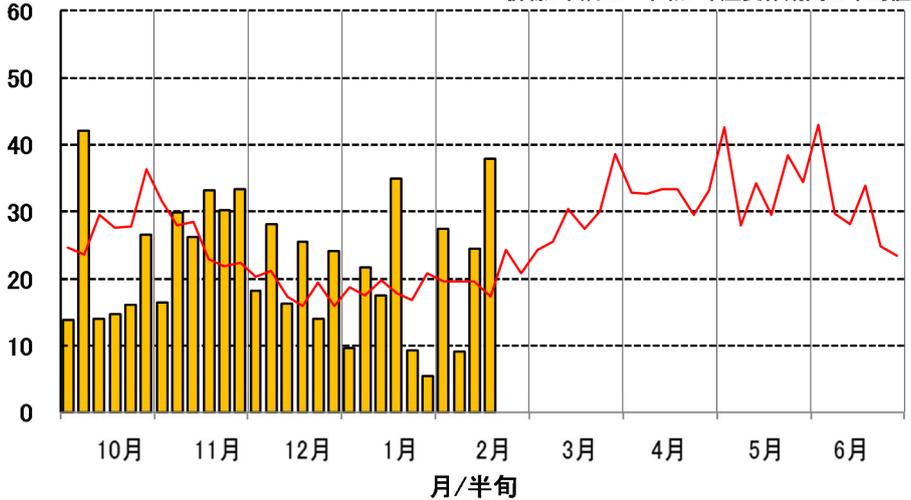
滋賀県ホームページ「しらしが（しらせり滋賀情報サービス）ご案内」
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/ict/306374.html>



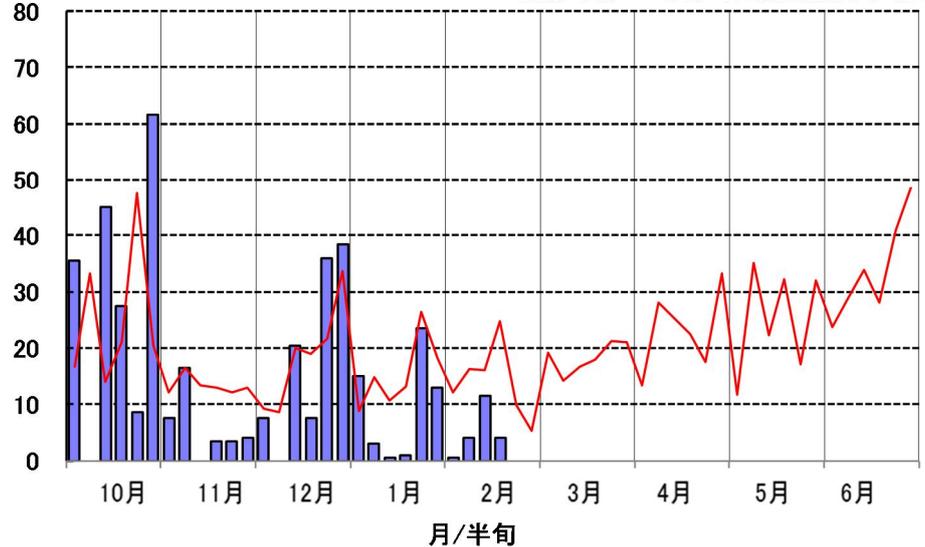
令和8年産(令和7年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)
 (°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 — 本年(令和8年産)
 — 平成28~令和7年産麦作期間の平均値



(hr) 【日照時間の推移】
 棒線: 本年(令和8年産)
 折線: 平成28~令和7年産麦作期間の平均値



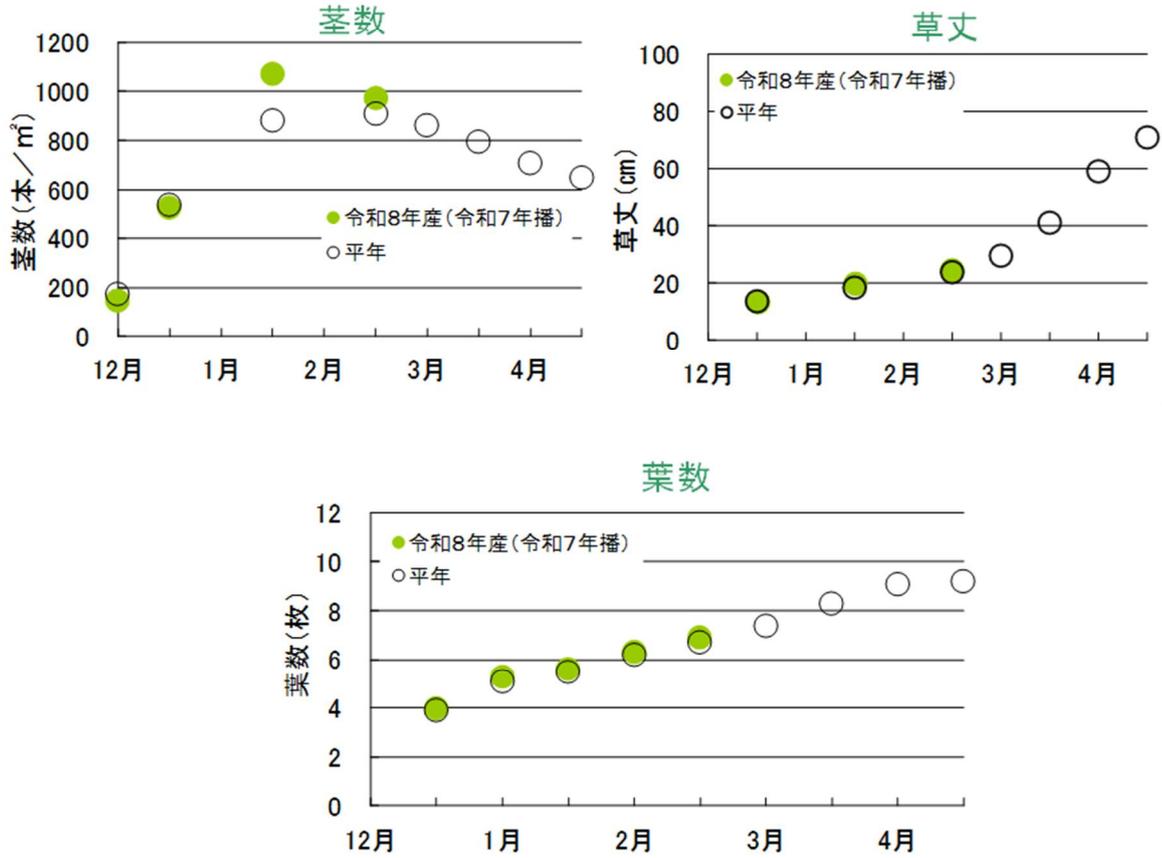
(mm) 【降水量の推移】
 棒線: 本年(令和8年産)
 折線: 平成28~令和7年産麦作期間の平均値



令和8年産生育調査結果(1)

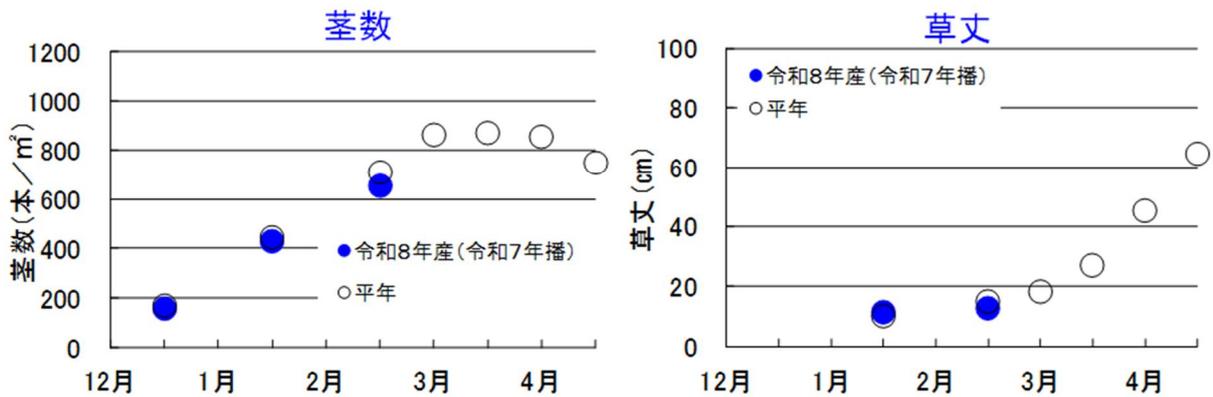
「びわほなみ」

令和7年11月5日播



(参考)

令和7年11月20日播

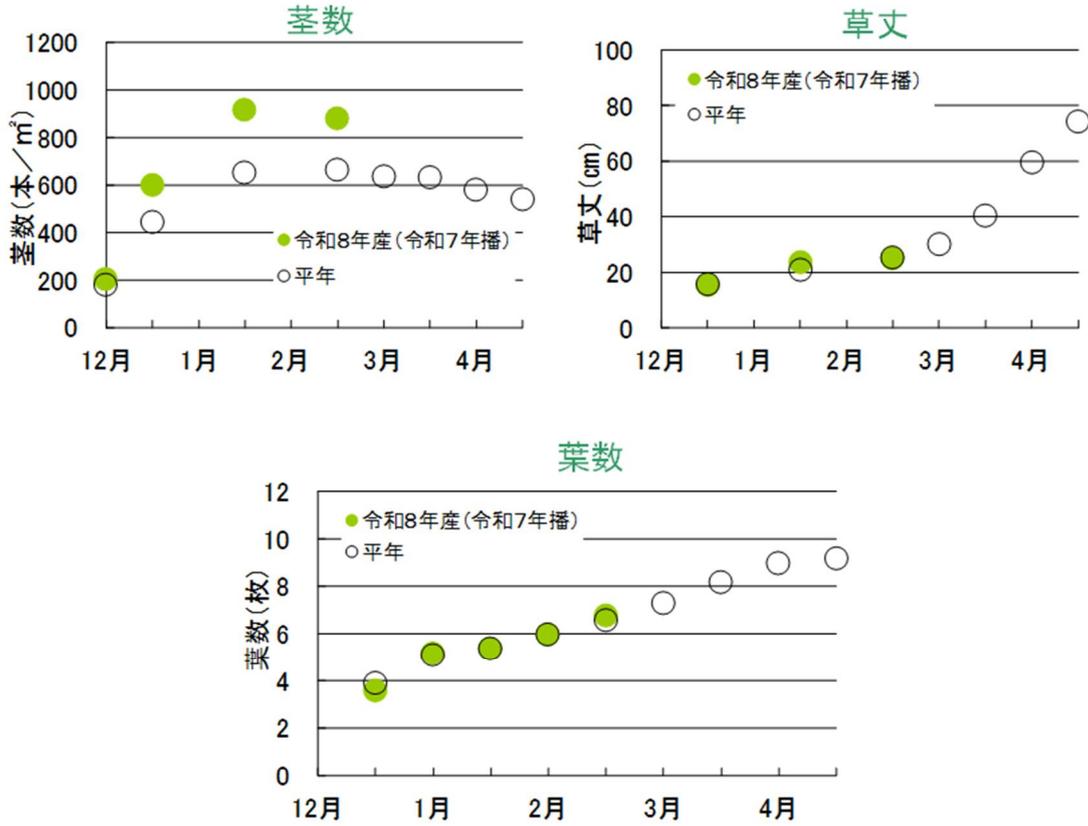


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30～令和7年産(平成27,29～令和6年播)の9年間の平均値。

令和8年産生育調査結果(2)

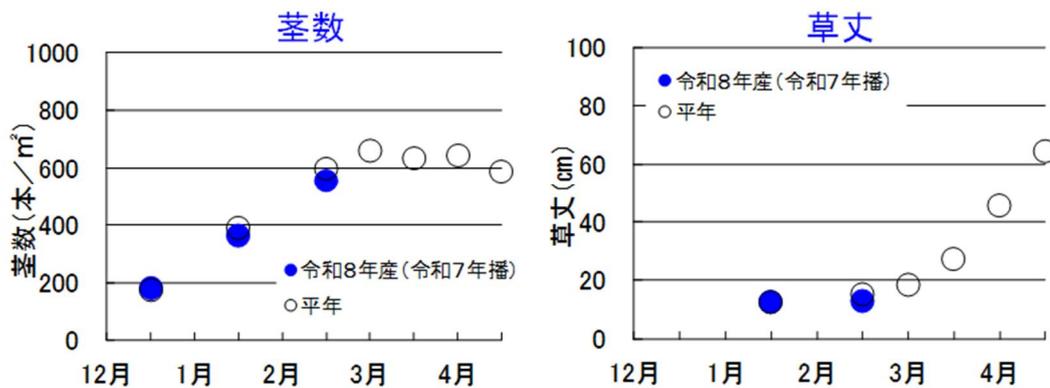
「ふくさやか」

令和7年11月5日播



(参考)

令和7年11月20日播

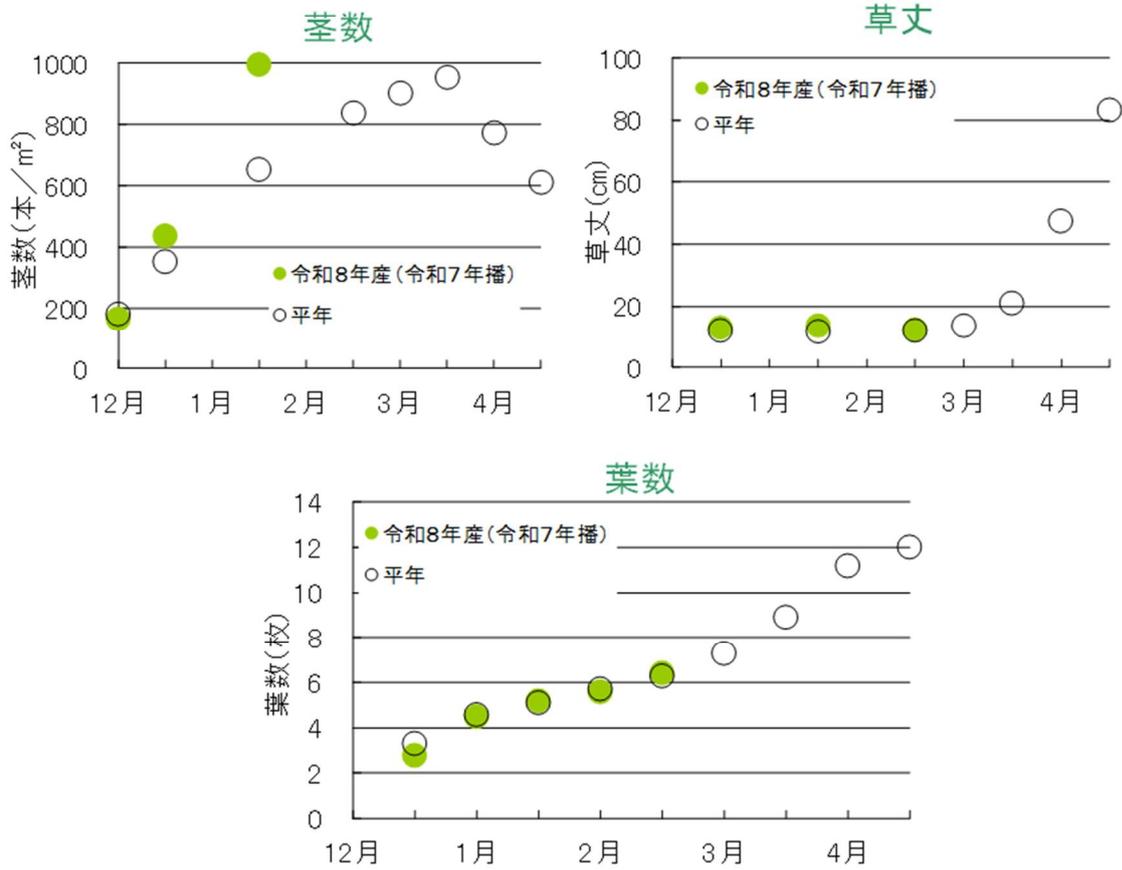


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。

令和8年産生育調査結果(3)

「ファイバースノウ」

令和7年11月5日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。



Instagram始めました

滋賀県農業技術振興センターの
公式アカウントです
各研究部門・農業大学校・
農業革新支援部から
旬の情報やお知らせを
お届けします
フォローをお願いします！

(写真は配信内容イメージです)



NOUGI_SHIGA

各研究部門
農業革新支援部



SHIGA_NOUDAI

農業大学校



滋賀県農業技術振興センター